

新春講座

1月15日(土) 薬師寺の神像

学芸課長 河原 由雄

午後1時30分より、講堂で開催。午後1時開場、先着120名限り。聴講無料。

国宝法隆寺展講座

3月5日(土) 法隆寺の歴史と昭和資財帳の成果

法隆寺住職代行 高田 良信

3月12日(土) 伝橘夫人念持仏について

奈良大学教授 井上 正

3月19日(土) 瓦からみた法隆寺の変遷

奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部考古第二調査室長 毛利光 俊彦

3月26日(土) 四騎獅子狩文錦をめぐって

前宮内庁正倉院事務所保存課長 松本 包夫

4月2日(土) 法隆寺の飛鳥・白鳳絵画

学芸課長 河原 由雄

午後1時30分より、講堂で開催。午後1時開場、先着120名限り。聴講無料。

ギャラリー・トーク

1月12日(水) 華嚴五十五所絵

美術室長 梶谷 亮治

3月9日(水) 聖靈院の聖徳太子像

仏教美術研究室長 松浦 正昭

午後2時より、陳列室で開催。(1月は新館) 入館者は聴講自由。原則的に毎月第2水曜日に開催。

親と子の文化財教室

平成5年度〈飛鳥時代の文化財〉

2月12日(土) 鏡や刀に刻まれた文字

主任研究官 西山 厚

3月12日(土) 飛鳥時代の工芸品

普及室長 関根 俊一

〈対象〉 小学5・6年生、中学生、高校生および保護者等。児童・生徒のみでも参加できます。

〈日時・場所〉 毎月第2土曜日、午前10時から12時まで。当館講堂・展示室。

〈定員〉 各回100名(先着順)。 〈参加費〉 無料(入館料とも)。

〈申し込み方法〉 往復ハガキ(または電話)で、希望日・住所・氏名・学校学年・電話番号・同伴する保護者等の氏名を記入して申し込んで下さい。

〈申し込み先〉 奈良国立博物館 親と子の文化財教室係

八窓庵茶室の公開

〈公開日〉 新館開館中の毎週木曜日(ただし雨天の場合は公開しません。)

〈公開時間〉 午前10時より午後3時まで

新館東南側の扉より誘導路に沿ってお進み下さい。

*なお、茶室の使用については、当館管理課までお問い合わせ下さい。

開館時間 午前9時より午後4時30分まで(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)

観覧料金 每月第2土曜日は、小・中学生無料(正倉院展・共催展等を除く)。

国 宝 法 隆 寺 展	大人	高・大生	小・中生
当 日	1,200	900	400
割 引	1,100	800	300
前 売	1,050	750	250
団 体	900	500	200

平 常 展	大人	高・大生	小・中生
一 般	400	130	70
団 体	200	70	40

*割引料金は、割引券を持参された方に適用されます。

*前売券は、チケットセゾン、チケットぴあ、関西ブレイガイド協会、近鉄テレメイトセンター(なんば・上本町・あべの橋)及び近鉄主要駅旅行案内所、奈良交通観光各窓口、大学生協で発売いたします。

*団体割引料金は、責任者が引率する20名以上の団体に適用されます。

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月の各1日に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し返信用封筒(80円切手貼付、宛名明記)を同封して、当館の普及室にお申し込み下さい。

〒630 奈良市登大路町50 電話0742-22-7771 FAX0742-26-7218 テレフォンサービス0742-22-3331 奈良国立博物館

第8号

奈良 国立博物館 だより

平成6年 1・2・3月



觀音菩薩立像(夢違觀音) 国宝 法隆寺蔵

銅造 鎏金 像高86.9cm

飛鳥時代

(「国宝法隆寺展」より)

特別展

法隆寺昭和資財帳調査完成記念 国宝法隆寺展

3月1日(火)~4月3日(日)

月曜日休館(ただし3月21日<月>は開館、3月22日<火>は休館)

主催 奈良国立博物館、奈良国立文化財研究所、法隆寺、法隆寺昭和資財帳編集委員会、NHK、NHKきんきメディアプラン

後援 文化庁、奈良県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・和歌山県・奈良市・京都市・大阪市・神戸市の各教育委員会

協力 東京国立博物館

法隆寺は、飛鳥時代に推古天皇と聖徳太子によって創立され、千四百年の法灯を今に伝える南都の大寺で、同時に、わが国最古の伽藍を擁し、多くの美術・工芸品を守り伝えている文化財の宝庫である。

この特別展は、十余年にわたって進められてきた「法隆寺昭和資財帳」作成にともなう総合調査の完成を記念して開催するもので、彫刻、絵画、工芸、書跡、考古など広い分野からの貴重な仏教美術を一堂に展示して、今回の調査の成果を紹介するものである。聖徳太子ゆかりの寺として名高い法隆寺の姿と、長い歴史の中で守り継がれてきた法隆寺の優れた仏教美術に触れるまたとない機会である。出陳総数153件(668点)うち国宝11件(22点)、重要文化財65件(250点)

主な展示品

	本館		新館				
	考古	彫刻	彫刻	絵画	書跡	工芸	
月 二月	1月4日(火)～1月16日(日) 奈良・田原本町出土埴輪〈◎牛形埴輪、人物埴輪、盾形埴輪、蓋形埴輪〉(田原本町教育委員会)、伝茨城・東海村出土埴輪〈馬形埴輪、犬形埴輪、人物埴輪〉、奈良・桜井市珠城山1号墳出土品(当館)、奈良・天理市星塚古墳出土品(当館)、奈良・明日香村牽牛子塚古墳出土七宝金具(当館)、群馬・宮城村苗ヶ島古墓出土品(当館)、奈良市西大寺町出土陶棺(当館)、高句麗・百濟・新羅出土古瓦(当館ほか)、法隆寺出土ほか飛鳥時代の古瓦7件(岡寺)【平安時代】 ●木造薬師如来像(元興寺)、●木造薬師如来立像(元興寺)、●木造薬師如来坐像(当館)、●木造十一面觀音立像(海住山寺)、●木造千手觀音立像(園城寺)、●木造板彌十二神将像(興福寺)、●木造如意輪觀音坐像(当館)、●木造五大明王坐像(当館)、●木造金剛力士立像(財寶寺)【鎌倉時代】●木造相六祖像のうち行賀像(興福寺)、●木造多聞天立像(当館)、●木造地蔵菩薩立像(東大寺)、●銅造阿弥陀如来像(善光寺)、●木造馬頭觀音立像(淨瑠璃寺)、●銅造藏王権現像(大峰山寺)、●行道面(淨土寺)	1月4日(火)～1月16日(日) 【飛鳥時代】●銅造誕生釈迦仏像(正眼寺)、●銅造弥勒菩薩半跏像(神野寺)、●銅造觀音菩薩立像(法起寺)【白鳳時代】●銅造觀音菩薩立像(金剛寺)、●銅造誕生釈迦仏像(悟真寺)、●銅板法華說相図(長谷寺)、銅造觀音菩薩立像(当館) 【奈良時代】●乾漆十大弟子像のうち舍利弗、目犍連像(興福寺)、●銅造弥勒菩薩半跏像(東大寺)、●銅造薬師如來像(称名寺)、木造大日如來像(元興寺町) 【菩薩】●木造弥勒菩薩坐像(藥師寺)、●木造聖觀音菩薩立像(西南院)、●木造准胝觀音立像(常盤山文庫)、●木造聖觀音立像、●木造竜猛菩薩立像(金剛峯寺)、●木造明星菩薩立像(弘仁寺) 【明王】銅造不動明王立像(当館)、木造愛染明王坐像(当館)、銅造軍荼利明王立像(園城寺) 【天】木造十二神将立像(当館)、木造毘沙門天立像(当館)、●木造增長天立像(称名寺)、●木造大黑天立像(興福寺)、●木造大將軍神像(大將軍八幡神社) 1月17日(月)～2月28日(月) 改修工事及び特別展準備のため休館	1月4日(火)～2月6日(日) 【如来】●銅造誕生釈迦仏立像及び灌仏盤(東大寺)、木造出山釈迦如來立像(當館)、木造釈迦如來坐像(法隆寺)、銅造釈迦如來立像(光明寺)、●銅造藥師如來立像(般若寺)、木造阿彌陀三尊像(峯定寺)、●銅造阿彌陀三尊像(東京国立博物館)、●木造阿彌陀如來坐像、●木造阿彌陀如來坐像(安樂寿院)、●木造藥師如來立像(稱名寺)、木造大日如來坐像(元興寺町) 【菩薩】●木造弥勒菩薩坐像(藥師寺)、●木造聖觀音菩薩立像(西南院)、●木造准胝觀音立像(常盤山文庫)、●木造聖觀音立像、●木造竜猛菩薩立像(金剛峯寺)、●木造明星菩薩立像(弘仁寺) 【明王】銅造不動明王立像(当館)、木造愛染明王坐像(当館)、銅造軍荼利明王立像(園城寺) 【天】木造十二神将立像(当館)、木造毘沙門天立像(当館)、●木造增長天立像(称名寺)、●木造大黑天立像(興福寺)、●木造大將軍神像(大將軍八幡神社)	1月4日(火)～2月6日(日) ●俱舍曼茶羅(東大寺)、●華嚴海會善知識曼茶羅(東大寺)、●華嚴五十五所絵(東大寺)、●絵因果経(当館)、●華嚴五十五所絵(東大寺) 特集展示「草枕絵巻」 草枕絵巻は夏目漱石の「草枕」に取材した絵巻物で全28図を描いている。大正15年(1926)に松岡映丘とその門下によって制作されたもので、平成5年故川口久雄金沢大学名誉教授の遺族より当館に寄贈されたものである。	1月4日(火)～2月6日(日) 賢愚経巻第十五〈大聖武〉 1月4日(火)～2月6日(日) 特集展示「奈良朝写経」 ●紫紙金字金光明最勝王経(当館)、●賢愚経巻第十五〈大聖武〉(東大寺)、●金光明最勝王経(百濟豈虫願経)(西大寺)、●大般若経(長屋王願経)(瑞光寺)、●中阿含経巻第九〈善光朱印経〉(当館)、●大般若経(魚養経)(薬師寺)、大悲経巻第二〈五月一日経〉(正暦寺)、紺紙銀字華嚴経〈二月堂焼経〉(当館)	1月4日(火)～2月6日(日) 綠釉三重小塔(当館)、●金銅透彫舍利殿(西大寺)、●金銅火焰宝珠形舍利容器(海龍王寺)、●鉄宝塔(西大寺)、春日神鹿舍利厨子(当館)、●黒漆舍利厨子(般若寺)、銅宝篋印塔(当館)、●金銅透彫迦陵頻伽文華鬘(中尊寺)、●金銅種子華鬘(兵主大社)、●鑄銅三具足(聖衆来迎寺)、銅王子形水瓶(当館)、●金銅錫杖頭、●金銅草花文磬(峯定寺)、●金銅密教法具(嚴島神社)、●金銀鍍宝相華文透彫花籠(神照寺)、●金銅透彫經筒(万德寺)、●線刻阿彌陀如來鏡像(当館)、●銅鉦鼓(手向山神社)、●銅梵鐘(当館)、刺繡釈迦阿彌陀二尊像、●黒漆金銅裝戒体箱(金剛寺)、●金銅蓮華形磬(赤松院)、木製彩色菊牡丹華鬘(当館)、●木製彩色華鬘(靈山寺)、●金銅種子華鬘(兵主大社)、●紙胎彩色華籠(万德寺)、黒漆螺鈿卓(当館)、●鳳凰戲金經櫃(淨土寺)、●金銅獨鈎鉢、●金銅宝珠鉢、●金銅四天王五鈷鉢(弥谷寺)、●金銅四大明王五鈷鉢(当館)、●金銅山王十二社懸仏(当館)、●線刻阿彌陀如來鏡像(当館)、●線刻男神鏡像(当館)、木製聖観音懸仏(当館)、千手觀音懸仏(宇迦神社)	
	2月7日(月)～2月28日(月) 特別展準備のため休館						
月 三月							
	<p>特別展 法隆寺昭和資財帳調査完成記念 国宝法隆寺展 3月1日(火)～4月3日(日) 月曜日休館 但し、3月21日(月)は開館、3月22日(火)は休館</p> <p>〔主な出陳品〕(陳列期間の限られる作品がありますので、別に作成する陳列替表でお確かめ下さい)</p> <p>【彫刻】●釈迦如来及び脇侍像(戌子年銘)、●觀音菩薩立像(夢違觀音)、●五重塔塔本塑像のうち維摩居士坐像・文殊菩薩坐像・羅漢坐像、●阿彌陀三尊像(伝橘夫人念持仏)、●伝橘夫人念持仏厨子、●阿彌陀三尊像(伝法堂中の間)、●阿彌陀三尊像(伝法堂東の間)、●阿彌陀三尊像(伝法堂西の間)、●弥勒菩薩坐像、●行信僧都坐像、●地藏菩薩立像(金堂)、●毘沙門天立像(金堂)、●吉祥天立像(金堂)、●聖德太子及び侍者像(聖靈院)、●地藏菩薩立像(聖靈院)、●如意輪觀音坐像(聖靈院)、●聖德太子像(七歳像)、●聖德太子像(孝養像)、●釈迦三尊像台座(金堂)、●藥師如來像台座(金堂)、●阿彌陀如來坐像(金堂)、●觀音菩薩立像(伝金堂阿彌陀如來脇侍)、勢至菩薩像(伝金堂阿彌陀如來脇侍、フランス・ギメ美術館蔵)ほか。</p> <p>【工芸】●天人(金堂天蓋付属)、●鳳凰(金堂天蓋付属)、●卓、華鬘、懸盤、●布薩花器、●錫杖、柄香炉、●水瓶(胡面水瓶)、●仏鉢、●香水壺、●磬、●密教法具、●唐組垂飾、●四騎獅子狩文鏡、●蜀紅錦、●善光寺如來御書箱、●幡(戌子年銘)、●幡残欠(智泉法師銘)、●百万塔及び陀羅尼、●一万節塔・十万節塔ほか。</p> <p>【絵画】●金堂小壁画(天人)、法華曼茶羅、●星曼茶羅、●五尊像、●孔雀明王像、●毘沙門天像、●十六羅漢図、●聖皇曼茶羅、●聖德太子像(孝養像)、聖德太子勝鬘經講贊図、●扇面法華経冊子断簡、●蓮池図ほか。</p> <p>【書跡】●大般若経(行信願経)、●法隆寺一切経、●大慈恩寺三蔵法師伝、●大唐西域記、●弥勒上生経、●華嚴経、●附法伝、●崇俊塔銘、●慧沼神塔碑、●十七条憲法板木、●七大寺巡礼私記、●法隆寺縁起白拍子、●法隆寺文書ほか。</p> <p>【考古】若草伽藍・斑鳩宮・西院・東院出土軒丸瓦及び軒平瓦、大講堂・西院(金堂)鷗尾、若草伽藍・西院(塔・金堂)鬼瓦、土師器、須恵器、円面鏡、施釉陶器、泥塔、瓦器、金堂出桁下隅雲肘木、金堂裳階組物、卍崩し高欄、五重塔隅雲肘木ほか。</p>						

●国宝、●重要文化財。 展示品は都合により一部変更する場合があります。